

## 事業事前評価表

## 国際協力機構東南アジア第二部第七課

## 1. 案件名(国名)

国名:ベトナム

案件名:国立産婦人科病院機材整備計画

(Project for Improvement of Equipment in the National Hospital for Obstetrics and Gynecology)

## 2. 事業の背景と必要性

## (1) 当該国における母子保健セクターの現状と課題

ベトナムの全女性人口に対する 10-19 歳の年齢人口は 20.89%(国連人口基金 2007 年。女性一人あたり平均出生率は 2.3 件(国連人口部 2006 年))を占めていることから、今後も出産件数が増加し、産科需要がますます高まることが予想される。しかし、現状では産婦人科病院が不足しており、特に未熟児出産等の高度医療に対応可能な施設が限られているほか、各医療施設における診療レベルについても改善が求められている。

国立産婦人科病院(NHOG)は産婦人科医療のトップリファラル病院として位置づけられ、ハイリスク分娩への対処をはじめとする先端医療サービスを提供している。過去 5 年間の平均実績として、年間手術数:約 6,000 件、外来検査数:1.9 万件に対応しているが、ベッド占有率は約 150%、新生児室ベッドは 270%超となっており、現在の施設規模では、年平均 10%前後の増加を続ける患者需要を満たせていない。さらに、機材の多くは導入後 10 年以上を経過して老朽化が著しいことから、最適な診療活動が行えない状況となっている。

## (2) 当該国における母子保健政策における本事業の位置づけ

ベトナム保健省は、2001 年に策定された「保健医療セクター 10 カ年計画」において、乳幼児死亡率の削減(1 歳未満乳児死亡率 2000 年:36.7/千人→2010 年:25/千人)及び妊産婦死亡率の削減(2002 年:165/10 万人→2010 年:70/10 万人)という目標を掲げている。また 2003 年に「病院ネットワーク開発計画」を策定し、全ての住民に地域医療ニーズに適した良質な医療サービスを提供するために病院施設を整備する方針を打ち出している。また、国立病院を含む中核医療機関に対しては、省病院や郡病院における医療サービスレベルの向上を推進する地域医療指導活動(DOHA:Direction Office for Healthcare Activities)に係る体制整備や 2008 年に発行された「保健省発決定 1816 条項」に基づく下位病院への医療技術の指導が義務付けられている。本事業は、これら政策と合致しており、母子保健サービスの改善に資するものである。

## (3) 母子保健セクターに対する我が国及び JICA の援助方針と実績

本プロジェクトは、我が国の国別援助計画の重点分野「社会・生活面の向上と格差是正」、開発課題「基礎社会サービスの改善」に位置づけられる。JICA は母子保健分野では「リプロダクティブヘルス広域展開アプローチ」、「母子手帳普及プロジェクト」を実施または計画しており、地方の一次・二次医療施設から中央の三次医療施設(NHOG)まで一貫した支援を行うことにより、母子保健サービスの質向上に寄与する。また本事業は、中核医療機関の指導能力強化を目的とした技術協力プロジェクト「保健医療従事者の質の改善プロジェクト」と連携し、保健医療分野の人材育成政策・制度改善に寄与する。

## (4) 他の援助機関の対応

医療施設改善に関し、世銀や ADB 等多数のドナーが主に地方省、郡レベルでの病院建設・改修

を支援している。母子保健分野では Unicef が妊産婦検診の推進や乳幼児栄養改善事業を実施しているが、いずれも本案件との重複は無い。

### 3. 事業概要

(1) 事業の目的(協力プログラムにおける位置づけを含む)

国立産婦人科病院において、高度産婦人科診療機材及び下位病院に対する産婦人科診療技術指導に必要となる研修機材を調達することにより、NHOG のトップリファラル病院としての診療機能及び下位の省病院に対する教育研修機能の強化を図る。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

ハノイ市 国立産婦人科病院

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

医療機材(細胞遺伝子部門用自動染色装置、血液学部門用自動血球分析装置、新生児部門用人工呼吸器および患者監視装置等)、教育機材(教育研修センター用分娩シミュレーター等)の調達

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

詳細設計、施工管理等。ソフトコンポーネントなし。

(4) 総事業費/概算協力額

総事業費 4.62 億円(概算協力額(日本側):4.61 億円、ベトナム側:0.01 億円)

(5) 事業実施スケジュール(協力期間)

2010 年 2 月～2011 年 4 月を予定(計 15 ヶ月。詳細設計、入札期間を含む)

(6) 事業実施体制(実施機関/カウンターパート)

1) 主管官庁:保健省、 2) 実施機関:国立産婦人科病院

(7) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類:C(医療用機材供与を行う案件であり、環境・社会への望ましくない影響はほとんどないと考えられる。)

② 影響と緩和・軽減策:特になし

2) 貧困削減促進:特になし

3) ジェンダー:特になし

(8) 他援助機関等との連携・役割分担:特になし

(9) その他特記事項:特になし

### 4. 外部条件・リスクコントロール

(1)事業実施のための前提条件

ベトナムの保健医療に係る政策が大きく変更されない。

(2)プロジェクト全体計画達成のための外部条件

・ベトナムの経済状態が大幅に悪化しない。

・産科医療サービスに従事する医師、看護師等の医療人材が確保される。

### 5. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

2.(3)に記載したベトナム保健分野への協力において、国立中核病院の DOHA、研修管理強化により、指導関係にある医療機関の医療サービスの質向上を達成した実績から、本件においても研修・教育用機材を支援し、下位の医療機関への効果波及を図る。

## 6. 評価結果

以下の内容により本案件の妥当性は高く、また有効性が見込まれると判断される。

### (1) 妥当性

本事業はベトナムおよび我が国の政策と整合している。また、ベトナムにおいては今後も出産件数の増加および産科需要の高まりが予想されることから、産科医療機関の整備は急務である。トップリファラルである NHOG の研修機能強化は、下位病院の人材育成促進にも貢献すると期待される。

### (2) 有効性

#### 1) 定量的効果

指標名	基準値(2008年)	目標値(2014年) 【事業完成3年後】
NHOGにおける分娩件数(通常、吸引、鉗子)(件)	10,535	増加する
NHOGにおける婦人科手術件数(件)	6,277	増加する
NHOGにおけるマンモグラフィ(乳がん)検査数(件)	0	増加する
NHOGにおける検査結果待ち時間(PCR、ELISA)*(日数)	10	短縮される
NHOGにおける研修実施数(分娩シミュレーター実技)		
①緊急分娩ケア(NHOGでの実施)(回数/年)	①4	①増加する
②緊急分娩ケア(地方病院での巡回実施)(回数/年)	②12	②増加する

\*産科で普及している血液検査方法。PCRはウイルスや細菌感染、ELISAは抗体・抗原を検出する。

#### 2) 定性的効果

- ・ハノイ市及び北部地域の下位医療施設において医療従事者の技能レベルが向上する。
- ・各地域の産婦人科医療サービスの質が向上する。
- ・リファラル体制が強化される。

## 7. 今後の評価計画

### (1) 今後の評価に用いる主な指標

6.(2) 1)のとおり。

### (2) 今後の評価のタイミング

- ・事後評価 事業完成3年後

以上